

みんなで「あつまり」「つながり」
「活躍する」ためのホットな情報
をお届け！

発行：甲府市協働支援センター

きっかけは コロナ禍



栽培観察農場で世代間交流

取組

貢川富竹西部自治会



貢川地区富竹西部自治会の功刀会長がじゃがいもと大根を栽培した経験があったことから、地域の各種団体の協力を得て、栽培観察農場運営の企画書を作成。農事組合の協力もあり事業実施となりました。栽培農場の運営面ではいろいろな工夫も…。作物の成長や栽培時のポイントを分かり易く説明するために会長自ら図表を作成。子ども達への配慮も忘れませんでした。地域に住む親子やお年寄りなど大勢の方々が参加した収穫祭は大盛況。作物を育てた様子をまとめた案内文も添えて全世帯へ配りました。



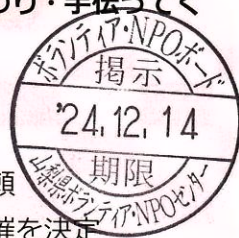
▲栽培時のポイントをまとめた資料
収穫までの期間 農園に掲出されていました

実践 地域活動で担い手を増やす

持続可能な自治会運営を探る！

貢川地区富竹西部自治会では、地区の行事にいろいろな団体が加わり・手伝ってくれる組織風土づくりを大切にしながら、次のことを実践しています。

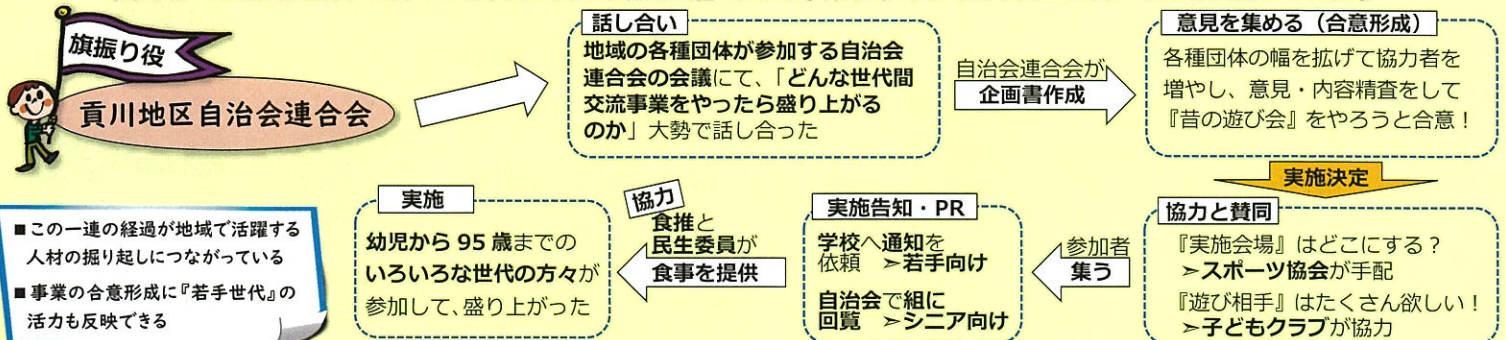
- 年間行事の計画書を地区の全世帯に配付
- 行事の実施にかかる予算と実施後にかかった費用を明示
- 地域の住民には時間に余裕のある時だけ地域活動への参加を依頼
- 若手世代の意見を企画書に取り込んで話し合いをして行事の開催を決定
- 行事の実施を通じて物事の言われや背景を若手世代に伝承



協働の輪

貢川地区自治会連合会の地域活動

貢川地区自治会連合会では、「三世代ふれあい交流広場」などの事業をみんなで話し合いを行いながら実施しています





研修

地域活動のデジタル化 推進

地域で活躍する役員の皆さんを対象にしたパソコン研修『すぐに使えるエクセル講座』を開催しました。40代から90代までの幅広い世代の受講者14名が参加しました。

これまで手作業による計算や資料作成に代わり、エクセルによる表作成と表計算機能を活用したスキルを学びました。参加者からは『エクセルが楽しい』『復習したら一人で表が作れるようになった』『マンツーマンで教えてくれて分かりやすかった。今後に活かしたい』との感想が聞かれました。



大学生もお手伝い

講師には協働支援課の職員のほか、インターンシップで甲府市役所に職場実習に来た県内外の大学生4人もお手伝いで参加。実習を通して、住民の皆さんへのデジタル化推進にも一役買ってもらいました。



▲職場実習に来た学生の4人

あつ活サポーター 甲斐縁隊

地域活動を盛り上げ

甲府市相川地区では『相川地区ふれあい夏祭り』を毎年開催しています。祭りの目玉の一つが子ども縁日です。相川地区子どもクラブ連絡協議会が運営していますが、近年、運営の担い手が減ってきていたことから、あつ活サポーターに

お手伝いの依頼がありました。今回は『甲斐縁隊』の学生4名が活動を支援してくれました。地域の方々からは『縁日が開催できてよかった。またお願いしたい』との感想がありました。



▲サポートする学生(手前左から2番目)

ボランティア サークル

高校生が学習支援

主に小学生を対象に学習支援をしている高校生のボランティア団体『Maple Tree』は、「やりたいと思ったら、いろいろ考えるよりも仲間と共に行動しよう」を理念に13名で活動しています。長期休暇などを中心



▲8月に実施した学習会の様子

に学習支援会を行っています。教える側と教わる側の年齢が近いことがメリットで、徐々に活動の幅を広げています。

団体の活動はこちらから▶



研修情報

パソコンで手軽に作れる 魅せるチラシ作成講座

- 日時 11月27日(水) 午後1時30分～3時30分
- 内容 チラシ作りのコツやパソコンでの作成方法を学びます
- 対象 地域で活動している各種団体の役員の方等
- 定員 12名(先着順)
- 持ち物 ご自分のパソコンを使って受講したい場合はパソコン
- 申込方法 11月22日(金)までに電話で(☎055-231-5537)

※11月5日(火)午前10時から受け付けを開始します。

協働支援センターで実施した研修の詳細情報はこちらから▶



あと書き

協働支援センター入口の市民カフェでは、ご近所の方やセンター利用者が提供してくれた季節を感じる展示物やスズムシが、爽やかに来場者をもてなしてくれました。

季節の音色が協働支援センターに響き渡りました。

